

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	申間市アクティブセンター
所在地	申間市大字西方6524-88
指定管理者	名称 特定非営利活動法人 元気になろう会 代表者 理事長 谷口 直美 住所 申間市大字西方716番地
モニタリングの実施方針・方法等	毎月、業務報告書の提出をうけ、モニタリングを行った。 また、指定管理者による適切かつ確実なサービスが確保されているかの確認を指定管理者制度運用指針のチェックシートに基づき実施し、施設管理運営評価モニター会議にも意見、評価を求めた。
担当課 (問い合わせ先)	商工観光スポーツランド推進課 商工係 (☎0987-55-1127)

■モニタリングの総合コメント

アクティブセンターの管理運営については、市民相互の交流促進等、設置目的に応じた自主事業の実施など適正に行われている。また、年4回開催する連絡調整会議を通して、市と指定管理者との連携強化を図っている。令和元年度の施設利用者数は17,087名で、前年比1,024名減であった(平成30年度:18,111名)。近年の少子高齢化の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者が減少していると考えられるが、効果的なPRや広報活動を工夫し新たな利用者が増えることを期待したい。

■今後の業務改善に向けた考え方

和室や体育室など充実した施設、ヨガ教室や自立生活体操など魅力的な自主事業を展開しているが、施設設備、事業内容などの情報発信不足をモニター会議で確認したため、施設に関する基本的な情報発信を市広報紙に掲載するなど定期的に取り組む必要がある。
 また、令和3年度から中央公民館施設として運営を検討しており、中央公民館及び申間市アクティブセンターの利用者が今まで以上に利用しやすい体制を整えていきたい。

■ 基本的な考え方(施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的を理解し、施設目的に沿った利用がなされている。また、自主事業においても施設目的に沿った内容、市民が利用しやすい取り組みが行われており、勤労者の健康増進や交流の場としての機能を果たしている。

■ 業務内容

・機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

自主事業として、6事業に組み込みほぼ計画通り開催している。また、年間延1,451人が受講する事業もあり、市民のニーズにあった取り組みを行っており市民相互の交流の場として機能している。

・責任性・実効性(施設の運営体制や組織)

基本協定書に基づき、適正な管理運営が行われている。物的施設としても日々維持管理できており、連絡調整会議等において市と指定管理者間の意思疎通も十分なされている。

・明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

毎月の利用状況報告、決算報告、自主事業報告については適正に報告されている。

・安全性(安全管理、緊急時等の対応)

事故・事件等は特に発生していない。経年劣化による施設老朽化に伴う施設修繕箇所に関する行政への報告も迅速に行われている。また、年に1回の防災訓練については、近隣の公共施設と連携を図り実施している(令和2年3月17日)。

・社会性(環境等への配慮)

施設内の清掃を外部委託で行っており、利用者が快適に施設を使用できる環境づくりに努めている。

■ 事業収支

経済性

団体の性格から、収入は指定管理委託料が主であり、指定管理委託料内での運営となっている。令和元年度の収支は、収入の9,900,012円に対し、支出が9,652,285円となっている。
なお、差額の247,727円については、指定管理者制度運用指針に基づき、指定管理者から余剰金返納の申し出により市に返還している。

■ 団体の経営状態

経営の健全性

経営面における借入や損失はなく、運営業務に関しては指定管理委託料内で計画的な執行がなされており、自主事業に関してもさまざまな取り組みがなされていた。